



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 エブレン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6599 URL <https://ebrain.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上村 正人
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 田中 猛 TEL 042-646-7171
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	2,878	△5.0	360	7.5	381	10.6	253	9.9
2025年3月期第3四半期	3,028	△1.8	335	△18.0	344	△16.2	230	△16.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 243百万円(2.4%) 2025年3月期第3四半期 237百万円(△20.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	167.91	—
2025年3月期第3四半期	152.79	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	6,061	4,969	82.0
2025年3月期	5,904	4,786	81.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 4,969百万円 2025年3月期 4,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期(予想)				48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,100	1.8	520	11.9	520	9.4	340	8.5	225.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	1,536,000株	2025年3月期	1,536,000株
2026年3月期3Q	27,053株	2025年3月期	27,053株
2026年3月期3Q	1,508,947株	2025年3月期3Q	1,508,947株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、主要国における景気支援策や金融政策に動きがあり、全般に景気は緩やかな回復傾向にありました。一方、米国の関税政策の変化による世界経済の減速懸念、中国経済の低迷、地政学リスクの高まりもあり、先行きは不透明な状況が続いております。

我が国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、物価上昇の長期化による消費者マインドの下振れ、米国と中国の対立やロシアによるウクライナ侵攻に加え、米国の関税政策の影響等により海外経済の不確実性が高まり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、日本製半導体製造装置について、2025年12月23日にSEAJ（日本半導体製造装置協会）より、11月時点での販売高（3か月移動平均ベース）が、前年同月比3.7%増の4,206億7,000万円になったと発表されました。これはAIサーバー向け先端ロジック、HBM（広帯域メモリ）系の設備投資の伸長に加え、中国向けが増加に変化したことも影響しています。

当社グループの売上高につきましては、前年同四半期と比較し、通信・放送分野と防衛関連分野で新規案件の成約により増加したものの、主力である計測・制御分野のEV関連への設備投資の減少と電子応用分野の顧客在庫調整の影響により、売上高は減少しました。

一方、利益面では値上がりした仕入れ部材の売価への価格転嫁が進んだことで、営業利益が増加しました。

また、前年同四半期と比較して、保険解約返戻金が6百万円増加したことや、為替差損が4百万円減少したこと等により、経常利益が増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高2,878百万円（前年同四半期比5.0%減）、営業利益360百万円（前年同四半期比7.5%増）、経常利益381百万円（前年同四半期比10.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は253百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。

当社グループは、産業用電子機器及び工業用コンピュータの設計・製造・販売を専業として行っており、セグメントは単一でありますので、セグメントごとに経営成績の状況は開示しておりませんが、営業品目の応用分野別売上の概況は、次のとおりであります。

通信・放送 [通信・放送・電力関連]

通信関連と放送関連は既存案件の生産終了や設備投資の減少があるものの、電力関連の新規案件の量産開始により、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比61百万円（40.3%）増の213百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の5.0%から7.4%となりました。

電子応用 [HPC(スーパーコンピュータ)・医療関連]

医療関連は市場のトレンドとしては堅調に推移していますが、顧客の在庫調整が継続し、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比62百万円（20.9%）減の236百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の9.9%から8.2%となりました。

計測・制御 [半導体製造装置・検査装置・FA関連]

半導体製造装置は主力機種種の在庫調整が継続、さらにEV関係への設備投資の減少により、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比208百万円（11.3%）減の1,644百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の61.2%から57.1%となりました。

交通関連 [鉄道・信号・ITS（高度道路交通システム、ETC等）関連]

鉄道信号関連は納期が未定であった部材の入荷に伴い売上高が伸長したものの、主要顧客における案件の失注により、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比横ばいの554百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の18.3%から19.3%となりました。

防衛・その他 [防衛用のレーダー、通信関連]

防衛関連の新規案件の成約により、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比59百万円（35.2%）増の229百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の5.6%から8.0%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ157百万円増加し、6,061百万円となりました。各区分の主な増減要因は以下のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ180百万円増加し、4,826百万円となりました。増加要因としては、現金及び預金383百万円、電子記録債権38百万円の増加であります。減少要因としては、受取手形及び売掛金141百万円、商品及び製品47百万円、原材料及び貯蔵品47百万円の減少であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ22百万円減少し、1,235百万円となりました。減少要因としては、繰延税金資産14百万円、保険積立金4百万円、その他(建物及び構築物)3百万円の減少であります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ28百万円減少し、678百万円となりました。減少要因としては電子記録債務57百万円、未払法人税等55百万円、賞与引当金30百万円の減少であります。増加要因としては、支払手形及び買掛金42百万円、短期借入金33百万円の増加であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2百万円増加し、413百万円となりました。増加要因としては、役員退職慰労引当金8百万円の増加であります。減少要因としては、退職給付に係る負債3百万円の減少であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ183百万円増加し、4,969百万円となりました。増加要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益253百万円であります。減少要因としては、配当金60百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.9%増加し、82.0%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の予想につきましては、おおむね計画どおりに推移しており、現時点では、2025年5月13日付「2025年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました数値からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,730,393	3,113,416
受取手形及び売掛金	527,495	386,168
電子記録債権	217,210	256,205
商品及び製品	174,058	126,416
仕掛品	228,510	233,015
原材料及び貯蔵品	724,488	676,920
その他	43,598	34,055
流動資産合計	4,645,755	4,826,197
固定資産		
有形固定資産		
土地	711,239	711,239
その他(純額)	149,765	144,292
有形固定資産合計	861,005	855,531
無形固定資産	10,482	8,863
投資その他の資産	386,790	371,266
固定資産合計	1,258,278	1,235,662
資産合計	5,904,033	6,061,859

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	158,338	201,077
電子記録債務	324,563	266,774
短期借入金	—	33,000
未払法人税等	91,448	36,223
賞与引当金	49,492	18,747
受注損失引当金	5,182	2,851
その他	77,804	119,896
流動負債合計	706,830	678,572
固定負債		
役員退職慰労引当金	228,430	236,484
退職給付に係る負債	179,165	175,583
その他	3,565	1,853
固定負債合計	411,161	413,920
負債合計	1,117,991	1,092,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	143,010	143,010
資本剰余金	136,999	136,999
利益剰余金	4,429,432	4,622,441
自己株式	△26,045	△26,045
株主資本合計	4,683,396	4,876,405
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,498	7,835
為替換算調整勘定	97,146	85,124
その他の包括利益累計額合計	102,645	92,960
純資産合計	4,786,041	4,969,366
負債純資産合計	5,904,033	6,061,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	3,028,745	2,878,635
売上原価	2,387,562	2,223,412
売上総利益	641,182	655,223
販売費及び一般管理費	305,491	294,255
営業利益	335,690	360,968
営業外収益		
受取利息	2,196	2,043
受取配当金	56	300
助成金収入	612	277
保険解約返戻金	9,179	16,032
その他	1,786	2,595
営業外収益合計	13,831	21,248
営業外費用		
支払利息	82	133
為替差損	5,044	1,022
営業外費用合計	5,127	1,155
経常利益	344,394	381,060
税金等調整前四半期純利益	344,394	381,060
法人税、住民税及び事業税	102,996	114,278
法人税等調整額	10,841	13,415
法人税等合計	113,837	127,694
四半期純利益	230,556	253,366
親会社株主に帰属する四半期純利益	230,556	253,366

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	230,556	253,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	536	2,337
為替換算調整勘定	6,880	△12,022
その他の包括利益合計	7,417	△9,684
四半期包括利益	237,974	243,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	237,974	243,682

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、産業用・工業用コンピュータのバックプレーン、バスラック、システムシャーシの設計・製造・販売を専業として行っており、単一セグメントであるため記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	13,034千円	10,804千円